

**スペースシャワーTVが主催する新イベント「TOKUFUKU LIVE Connect! Vol.2」  
初顔合わせとなる私立恵比寿中学とBiSHによる  
ガチンコ2マンLIVEが開催！この日限りのコラボ曲も披露！**



photo : 上山陽介

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

株式会社スペースシャワーネットワーク（本社：東京都港区、代表取締役社長：近藤正司）が運営する、日本最大の音楽専門チャンネル スペースシャワーTVで放送中のレギュラー番組「チュートリアル<sup>®</sup>の徳ダネ福キタル♪」。番組から生まれた新イベント「TOKUFUKU LIVE Connect!」の第2回が、10月13日(金)に東京・新木場スタジオコーストにて開催されました。本イベントは、これまで「チュートリアル<sup>®</sup>の徳ダネ福キタル♪ SPECIAL LIVE」に出演したアーティストと、これからもっと「チュートリアル<sup>®</sup>の徳ダネ福キタル♪」の番組やイベントで 一緒にしたいアーティストを“つなぐ”存在として生まれた「徳福ライブの姉妹イベント」です。第2回目となる今回の出演は、私立恵比寿中学とBiSHという、同じアイドルながらも違う土俵でそれぞれの活躍を魅せる2組。今をときめくアイドル2組の競演ということで、かなりのプレミアチケットとなった今イベント。熱狂の渦の中、アンコールではお互いの楽曲を2組揃って披露するなど、終始熱狂に包まれた時間となりました。

2組はそれぞれどのような化学反応を見せたのか!? ライブレポートおよびライブ写真素材をお送りいたしますので、是非貴媒体で取上げていただけますと幸いです。ご検討の程、よろしくお願い致します。

**「TOKUFUKU LIVE Connect Vol.2」イベント概要**

- ◆日時：2017年10月13日(金) OPEN18:00 START18:45
- ◆会場：新木場スタジオコースト ◆MC：菅沼ゆり ◆LIVE ACT：私立恵比寿中学 VS BiSH
- ◆主催/企画：SPACE SHOWER TV
- ◆公式サイト [http://sstv.jp/tokufuku\\_connect](http://sstv.jp/tokufuku_connect) (WEB/MOBILE共通)

これまでに「チュートリアル」の徳ダネ福キタル♪SPECIAL LIVE」に出演したアーティストと、これから「チュートリアル」の徳ダネ福キタル♪の番組やイベントに出演してもらいたいアーティストとを“つなぐ”ライブイベントとしてスタートした「TOKUFUKU LIVE Connect!」。その第2回目が、10月13日に新木場STUDIO COASTで開催された。今回の出演は、私立恵比寿中学とBiSH。スペースシャワーTVの企画担当者が、“今年いちばんのアイドル対決にしたい”と組んだツーマンであり、チケットの応募総数は2万通を超え、瞬間にソールドアウトとなった。満員のSTUDIO COASTは開演前から凄まじい熱気で、それぞれが番組出演した際の映像がスクリーンに流れると、大きな歓声が上がっていた。そんななか、番組MCの菅沼ゆりがステージに登場。「今日のエビ中とBiSHは、例えるなら白と黒、太陽と月のような正反対の2組ですが、わたしも大ファンですごく楽しみ。外は雨で寒いけど、いちばん熱い夜にしたい」と語り、景気付けにコール&レスポンスで盛り上げると、最初のアーティストBiSHを紹介した。

アイナ・ジ・エンド、モモコグミカンパニー、セントチヒロ・チッチ、ハシヤスメ・アツコ、リンリン、アユニ・Dがステージに登場すると、興奮と歓声でフロアが大きく波打つ。1曲目の「プロミスザスター」からファン＝清掃員は抜群の一体感で、それぞれのソロパート前に大きな声でメンバーの名前を叫び、盛り上げていく。事前のインタビューで、エビ中とは対照的なグループのように見えるけれど、じつはエビ中もBiSHも好きだというファンが多いと語っていた。コブシとともにエビ中のファンのサイリウムが上がり、サウンドをかき消さんばかりのコールが起こる会場は、まさにそのことを証明するもの。「is this call?」、そしてアイナのハスキーなヴォーカルが牙えるオルタナチューン「スパーク」へとつなぎ、メンバーが二手に分かれるはなないちもんめのような振りでは、フロアの各所でも同じように二手に分かれて楽しみ、ハイパーなバンクチューン「GIANT KILLERS」ではサークルができ、シンガロングの音が大きく響きわたる。猛烈な熱気とアグレッシブに気持ちをぶつけるフロアの様子は、ロックバンドやラウド系バンドのライブのようでもあり、またBiSHはその大きなうねりを掴んで振り回す力強いパフォーマンスをする。メジャーデビューから約1年半。ツアー本数やステージ規模を大きくしながら、心身ともに音楽に向き合っている真摯さが、6人を強くしているのが伝わってくる。

後半には「今日は、エビ中さんの待望のツーマンということで、エビ中さんの曲をカバーさせていただきます」（チッチ）と、「フコイ」をカバー。もともと「フコイ」はBiSHを手がける松隈ケンタが編曲をした曲でもあり、BiSHとの親和性も抜群な、激エモなカバーに仕上がった。こうしてフロア全体を掌握したところで、「BiSH-星が瞬夜に-」で会場を揺らすようなヘッドバングを生む、壮大なシーンを作り出して、エビ中のステージへとつないでいった。

“スターダストのエビ中です”のフレーズが鮮烈な「ebiture」で幕を開けた私立恵比寿中学のライブでは、フロアにたくさんのカラフルなサイリウムが瞬いた。白い制服に身を包み、真山りか、安本彩花、廣田あいか、星名美伶、柏木ひなた、小林歌穂、中山莉子が登場し「春の嵐」をエモーショナルに歌いあげ、先ほどBiSHがカバーをした「フコイ」へと続く。歌のストーリー、ポエティックな情景を丁寧に表現していくそれぞれのヴォーカルや、振りのひとつひとつで魅了していくステージは、真っ白な衣装と相まってまさに正統派のアイドル、という佇まいだ。そして「エビ中のことを初めて見るという方も、楽しんで帰ってくださいね」という言葉から、前半の可憐さとはまた違ったポップで、元気なエビ中の扉をどんどん開け放っていく。「ラプリーズマイリーベイビー」、そして「ハイタテキ!」とどんどんエネルギーとなって、メンバーの笑顔とパワフルな歌、躍動感たっぷりのダンスで、フロアの歓声やコール、温度も急上昇させる。右肩上がりのフロアのテンションをなだめるように、自己紹介でひと呼吸おくと、「BiSHさんが『フコイ』をカバーしてくれたので、わたしたちもお返しをしたいと思います。聴いてください」（真山）と、BiSHの「オーケストラ」をカバー。振り付けもしっかりと体に入れ、ドラマティックな「オーケストラ」という曲の魅力を伝えるカバーとなった。

そしてここからはさらにハジけたエビ中を全開に、「君のままで」、「サドンデス」とハイパーでシアトリカルな曲で盛り上げていく。表情をくらくると変え、7人のキャラクターが牙えまくる寸劇ちっくなダンス・サドンデスでフロアを沸騰させると、ラストはエビ中ファミリーも清掃員も一斉にジャンプさせる「HOT UP!!!」で完全燃焼! 「すごい、(フロアの)密度が高い!」(安本)という言葉そのものの熱い塊となった会場に、歓喜の拍手とコールが轟いた。

私立恵比寿中学とBiSHが揃ったのアンコールでは、この「TOKUFUKU LIVE Connect!」でしか見られないコラボを展開。総勢13人で、BiSHの「GIANT KILLER」とエビ中の「永遠に中学生」を披露。エンディングでMCの菅沼ゆりが「奇跡の瞬間を目撃しました」と興奮気味に語る、まさに今年いちばんのアイドル対決であり、最強タッグのステージとなった。

なお、この熱いステージの様子は、スペースシャワーTVプラスにて11月18日(土) 22:00～1時間、たっぷり放送予定。奇跡の一夜を見逃さないように。

text : 吉羽さおり

**このライブの様子は、スペースシャワーTVプラスで11月に特別番組として放送決定!!**

### 「TOKUFUKU LIVE Connect! Vol.2」

初回放送 : 11月18日(土)22:00～23:00

放送局 : スペースシャワーTVプラス (視聴方法→ <http://www.spaceshowertvplus.com/about/howto/>)

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社スペースシャワーネットワーク コンテンツマーケティング部

TEL:03-3585-3544 FAX:03-3585-3215 <http://www.spaceshowertv.com/>

担当:中澤久美子 [knakazawa@spaceshower.net](mailto:knakazawa@spaceshower.net)